

2018年7月20日

## The Emerging Markets Weekly

### 貿易戦争の次の山場は9月か

**新興国市場:** 今週の新興国通貨は下落した。先週末 13 日は米 7 月ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を下回ったことを受けドルが軟化中、新興国通貨はまちまちな動き。週初 16 日はパウエル FRB 議長の議会証言を 17 ~ 18 日に控える中、ドル売り優勢地合いになると新興国通貨は上昇。しかし、米経済指標の良好な結果を背景にドルが反発すると新興国通貨は上げ幅を縮小した。17 日、注目の議会証言でパウエル FRB 議長が米国経済に対する楽観的な見方を示したほか、漸進的な利上げを続ける方針を述べるとドルは続伸し新興国通貨は上値重く推移した。18 日は前日の流れを引き継ぎドルが堅調に推移する中、新興国通貨は軟調な値動きが継続。19 日も同様の展開が続いていたものの、トランプ大統領が FRB の利上げを「好ましくない」と述べたことや、強いドルは「米国を不利な立場に置く」と発言したことを受けドルは急落し、新興国通貨売りに一服感が出た。

**アジア:** 16 日に発表された中国 4 ~ 6 月期 GDP は前年比 +6.7% と 1 ~ 3 月期 (同 +6.8%) から小幅に減速したが、市場予想通り (同 +6.7%) だったため CNY への影響は限定的。しかし、19 日に中国人民銀行 (PBoC) が設定する基準値が節目と見られる 6.70 を上回る 6.7066 に設定されると CNY は急落した。18 日に韓国企画財政省は半年に 1 回公表する経済政策報告書で 2018 年の経済成長見通しを従来の +3.0% から +2.9% に引き下げたことや、CNY が急落する動きに KRW は連れ安となった。インドネシア中央銀行 (BI) は 19 日に金融政策会合を開催し政策金利を 5.25% に据え置いた。BI は 2018 年に入って IDR を下支えするために合計 100bp 政策金利を引き上げており、今会合では現状の金融政策を維持したものの、BI のペリー総裁が「われわれは政策スタンスがタカ派であるということを強調する必要がある」と述べるなど、引き続き IDR のサポートに強い意欲を示した。なお、政策金利の据え置きは市場予想通りであったが、会合後の IDR は小幅に値を下げた。

**中東欧・アフリカ:** 17 日に米共和党のライアン下院議長がロシアに対する経済制裁の強化を検討する用意があるとの考えを示したことを受けて RUB は軟化した。南アフリカ準備銀行 (中央銀行、SARB) は 19 日に金融政策会合を開催し、政策金利を 6.50% に据え置いた。SARB はこれまでの会合で指摘してきたインフレ率の上振れリスク要因が現実味を帯びていると指摘したほか、2018 年の成長見通しを +1.7% から +1.2% に下方修正したことが嫌気され ZAR は下落した。

**ラテンアメリカ:** 18 日にトランプ大統領がメキシコとの 2 か国間で通商交渉を行う可能性があるとの発言を受け、交渉の早期妥結に対する期待が高まり MXN は上昇したが、その後はドル買い優勢地合いとなる中で反落。18 日に商品市況が悪化する中で BRL は急落したが、19 日に財政改革路線の維持を掲げるアルキミン大統領候補がブラジル労働党 (PTB) からの支持をとりつけたとの報道を受けて買い戻された。

国際為替部  
マーケット・エコノミスト  
佐々木 貴彦  
03-3242-7065  
takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト  
多田出 健太  
03-3242-7065  
kenta.tadaide@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜  
03-3242-7065  
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。  
しています。

レポート全ページをご希望の方は、  
お取引いただいているみずほ銀行の  
お取扱店、またはお取引担当部まで  
お問い合わせください。

以上